平成２３年度　業　務　棚　卸　表（事後評価表）

健康部　保健予防課　村上　周作	
作成日	平成24年8月27日

総合計画での位置付け	
基本目標または5つの視点	「基本目標」 または 「5つの視点」　の該当するものを記入
基本的政策または上位目的	基本的政策　③子どもから高齢者まで元気で暮らせる健康づくり

		成果･活動指標	実績（平成21年度）	実績（平成22年度）	実績（平成23年度）	目標（平成23年度）	達成度
任務目的	こころの病などに対する地域の偏見・誤解を取り除くための普及啓発、こころの病気の進行・再発を防止するため、早期受診と治療を継続するまちになる。	こころの相談を受けた件数	1,195件	1,509件	1,610件	1,500件	☆☆☆
		こころの健康講座等参加者数	566人	691人	1,262人	700人	☆☆☆☆

23年度の実績を受けた取り組みの評価

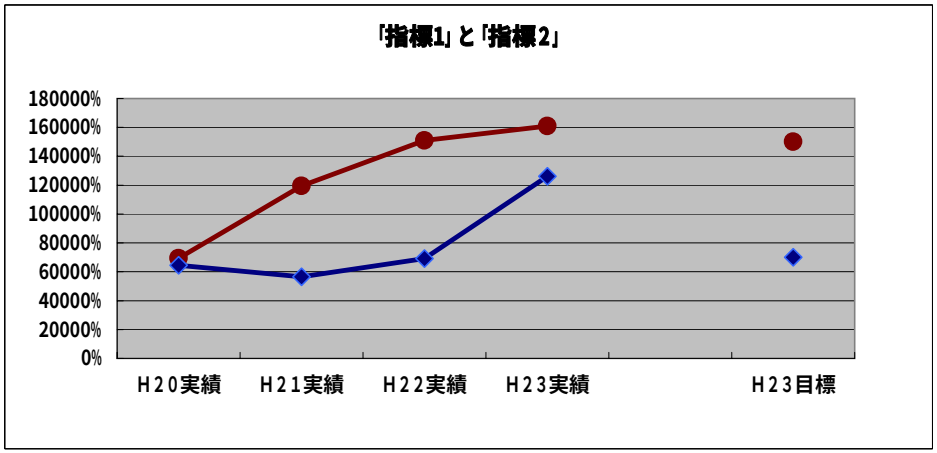
･こころの相談事業については、引き続ききめ細かく広報したことや、医師、保健師等のこころの相談体制に新たに精神保健福祉士を加えて相談体制を強化したことなどにより、相談件数は増加し、目標どおりであった。
･こころの健康講座等の参加者数についても地区出前講座等の回数が増えたこと、新たにメンタルパートナー養成事業に取り組んだことなどにより増加し、目標を上回った。

これからの課題、施策等展開の方向性

･引き続き、こころの相談事業についてあらゆる機会にきめ細かく周知し早期相談を呼びかけていく。
･医師、保健師、精神保健福祉士等による相談体制の強化、充実を図る。
･自殺対策や若年者の早期支援としてのこころの健康教育を充実させながら、こころの健康講座や地区出前講座の案内を広く行っていく。

こころの相談を受けた件数（件）	
Ｈ２０実績	694
Ｈ２１実績	1195
Ｈ２２実績	1509
Ｈ２３実績	1610
Ｈ２３目標	1500

こころの健康講座等参加者数（人）	
Ｈ２０実績	646
Ｈ２１実績	566
Ｈ２２実績	691
Ｈ２３実績	1262
Ｈ２３目標	700



平成２３年度　業　務　棚　卸　表（事後評価表）

健康部　保健予防課　村上　周作	
作成日	平成24年8月27日

総合計画での位置付け	
基本目標または5つの視点	基本目標　④　市民が支えあい健康で自分らしく暮らせるまち
基本的政策または上位目的	基本的政策　③　子どもから高齢者まで元気で暮らせる健康づくり

		成果･活動指標	実績（平成21年度）	実績（平成22年度）	実績（平成23年度）	目標（平成23年度）	達成度
任務目的	感染症について市民に広く啓発し、感染症の予防意識を高める	健康教育参加者数	1,346人	1,114人	1,091人	1,470人	☆☆
		結核患者への直接服薬確認指導実施率	71.1%	88.5%	100.0%	100.0%	☆☆☆

23年度の実績を受けた取り組みの評価

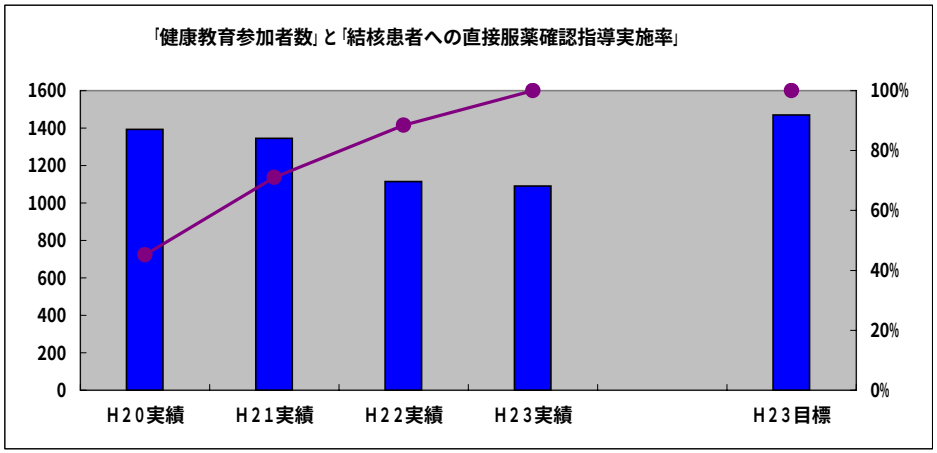
･感染症の集団発生のリスクが高い高齢者施設の感染症対策担当者を対象に吐物処理の実技を含めた研修会を開催したほか、出前講座や広報紙のホームページ等においても感染症予防について啓発を行なった。
･福祉施設へのチラシ配布や、老人クラブ連合会会合において出前講座の案内を行ったが、申込み件数は伸びず、また、部内他課事業を活用して感染症予防の健康教育を行ったが、目標値を下回った。
･結核患者支援については、その状況に応じたきめ細かな対応を実施し、治療完遂のための直接服薬確認指導は目標を達成できた。

これからの課題、施策等展開の方向性

･把握した感染症の発生動向情報を市民や医療機関等に情報発信するとともに、流行時期の前から感染症の流行状況に応じた予防啓発を行なう。
･集団発生のリスクの高い福祉施設等に働きかけ、健康教育に取り組む。
･感染症発生時には、法に基づき、疫学調査を実施し、二次感染予防等の指導を行なう。
･結核患者に対し個別に直接服薬確認指導（DOTS）を行い、服薬を完遂できるよう支援する。

健康教育参加者数	
Ｈ２０実績	1,394
Ｈ２１実績	1,346
Ｈ２２実績	1,114
Ｈ２３実績	1,091
Ｈ２３目標	1,470

結核患者への直接服薬確認指導実施率	
Ｈ２０実績	45.2%
Ｈ２１実績	71.1%
Ｈ２２実績	88.5%
Ｈ２３実績	100.0%
Ｈ２３目標	100.0%



平成２３年度　業　務　棚　卸　表（事後評価表）

健康部　保健予防課　村上　周作	
作成日	平成24年8月27日

総合計画での位置付け	
基本目標または5つの視点	基本目標　④　市民が支えあい健康で自分らしく暮らせるまち
基本的政策または上位目的	基本的政策　③　子どもから高齢者まで元気で暮らせる健康づくり

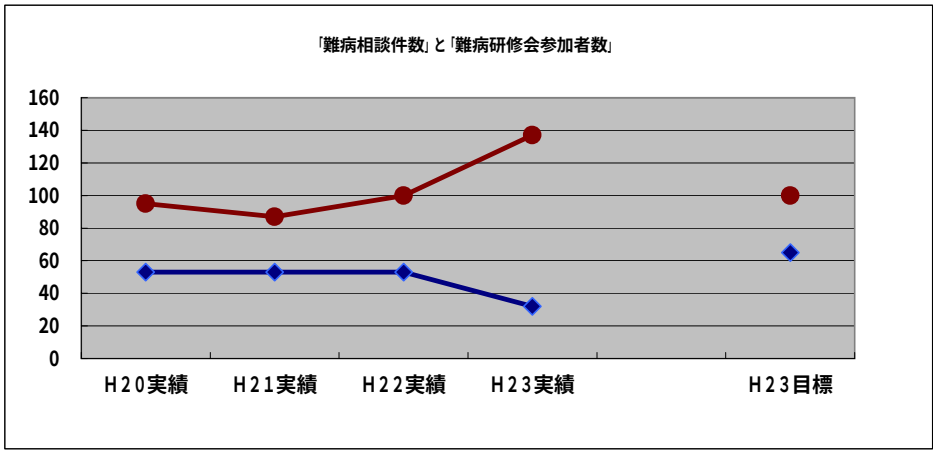
		成果･活動指標	実績（平成21年度）	実績（平成22年度）	実績（平成23年度）	目標（平成23年度）	達成度
任務目的	医療費の公費助成や在宅療養の支援を行い、安心して医療機関に受診し、療養できるようにする	難病相談件数	87件	100件	137件	100件	☆☆☆☆
		難病研修会参加者数	53人	53人	32人	65人	☆

23年度の実績を受けた取り組みの評価

･難病相談については、9月からは特定疾患治療給付制度の新規申請者に相談を実施している旨のチラシを手渡すとともに、重症認定申請者には、面接･アンケートにより、日常生活の状況や療養生活上の困りごとなどの相談に応じ目標を上回ることができた。
･難病研修会は、前年度の参加者アンケートを参考に、要望の多いリハビリにテーマを絞った内容とするとともに、関係機関へは難病患者支援の経験の少ない方の参加を呼びかけたものの、台風の影響もあり、参加者数は伸びず、目標をかなり下回る結果となった。

これからの課題、施策等展開の方向性

･難病相談については、引き続き、特定疾患治療給付制度の申請･更新時を活用した周知と面談に努めるとともに、医療依存度の高い、神経難病の在宅療養者へは、訪問看護師や訪問介護員等とのケア会議に参加し、療養生活上の困りごとなどの把握に努める。
･難病患者に関わる訪問看護師や訪問介護員等のスキルアップのため、ニーズの高いテーマで、参加しやすい時間帯とするなど、関係機関を対象に研修会を開催する。

難病相談件数	
Ｈ２０実績	95
Ｈ２１実績	87
Ｈ２２実績	100
Ｈ２３実績	137
Ｈ２３目標	100

難病研修会参加者数	
Ｈ２０実績	53
Ｈ２１実績	53
Ｈ２２実績	53
Ｈ２３実績	32
Ｈ２３目標	65